

事業計画書

1 土地選定の理由

- ・記入は2～3行程度で具体的に。(但し、地名、場所名、個人名等の固有名詞を使用する必要はありません。)
- ・資材置場や駐車場を建設する場合、新たに必要とする理由や面積を記載(既存施設がある場合は、既存施設の規模等も記載する。)

2 事業の目的及び必要性

- ・記入は2～3行程度で具体的に。(但し、地名、場所名、個人名等の固有名詞を使用する必要はありません。)

3 計画概要[事業面積・転用面積等]、[土地利用計画：建築建物又は設置する施設の概要等]

- ・計画概要には、事業面積、転用面積、転用した農地に建設する施設の面積等、具体的かつ詳細な規模決定根拠を記載

事業地に農地以外の土地が含まれる場合には、その土地の利用見込みについて記載

(例) **事業面積**：470㎡ 転用面積：450㎡ *宅地20㎡(番)については、農地と同時に取得予定

・利用面積の内訳を具体的かつ詳細に記載
・転用目的が資材置場の場合、申請地に置く資材の大きさ、数量等について詳細に記載
・転用目的が駐車場の場合、大きさ、台数を記載(駐車スペースのみで1台あたり15㎡程度が目安)

(例) **土地利用計画**：個人住宅 木造瓦葺き2階建 建築面積 〇㎡、進入・駐車スペース〇㎡ 庭・その他〇㎡

4 資金計画[収入・支出の詳細]

- ・記入要領は任意ですが、支出対象(例：土地、建物等)の個別価額を明記してください。
- ・自己資金・借入資金の内訳を記載し、融資証明書(原本)、預金残高証明書(原本)又は預貯金通帳残高の写しが必要です。

* 預貯金通帳残高の写し:窓口で、持参された通帳の残高を確認させていただ

5 給排水計画[給水方法の検討][雨水・生活雑排水・汚水のそれぞれの処理方法]

- ・記入要領は任意記載(別添の排水計画図を説明・補完する内容の記載)

(例) **給水方法**：飲料水は、事業計画地内にボーリング掘削の井戸により賄う。

(例) **雨水・生活雑排水・汚水の処理**：合併処理浄化槽を経由の上、町下水道に接続し排水します。

排水計画図との整合性を要確

6 被害防除計画

(1) 造成中の被害防除方策[造成に係る土地の流失、堆積、崩壊への対応策]

- ・記入要領は任意(但し、被害発生時は申請者が責任をもって対応することを明記する必要があります)

(2) 完成後の被害防除策 [ガス、湧水、捨石、及び粉じん等による付近の農業等への影響の有無、対応策] [近傍農地への被害防除方策:日照、通風、耕作等への影響及びその対応策]

- ・記入要領は任意(但し、被害発生時は申請者が責任をもって対応することを明記する必要があります)